

夏祭り

滝山前沢みんなの夏祭り

池田 正二

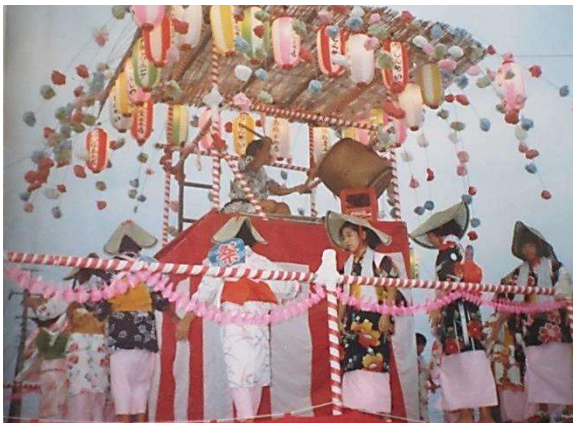
♪ 軽く手拍子 みんなであわせ 東久留米の ヨーイヨイ 音頭とゆこうか
さす手 ひく手に夜風をうけて 今宵うれしく 夜が更けるソレ
アノ娘くろ目で クルリコ シャンシャン ひがしくるめで クルリコ シャン
シャン ♪・・・・・・・・

年配の方は記憶にあると思いますが、朝から会場より風に乗って聞こえてくる盆踊り曲の中に、三橋美智也の「東久留米音頭」がありました。

作詞 サトウ ハチロウ 作曲 田中 利光 です。

定番の炭坑節、東京音頭等と共に否応なくお祭り気分が盛り上がりました。

当時は各地で盆踊りが盛んで、あずま演舞場（現第一ブロック会場）では本格的な櫓（やぐら）を組み、夜は盆踊りの出来る唯一の会場として、浴衣姿の子供から大人の踊り手で夜遅くまで大変な賑わいを見せました。



昭和 53 年に、滝山東商店会（現まえさわ小町商店会）・前沢 5 丁目自治会から夏祭りの招待があり、全会員にアンケートを実施して参加をすることに決定しました。

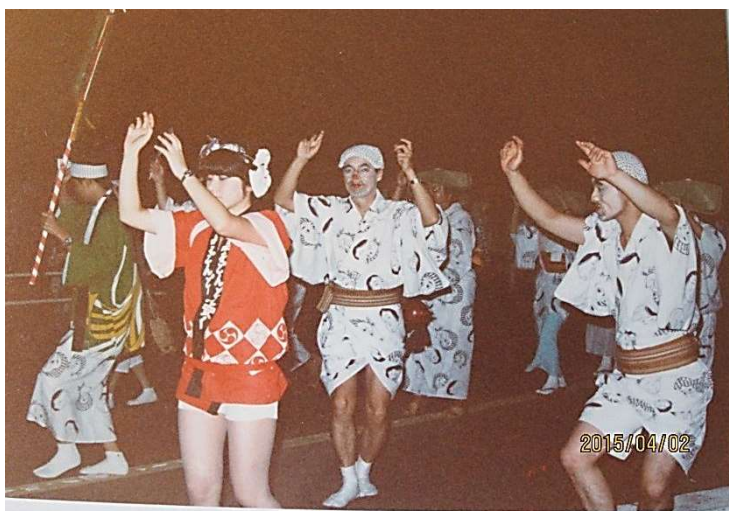
参加するに際して、団地が出来る以前から当地区に長く住んでいる会員の E さんが、「滝山みんなの夏祭り」の呼称には、由緒ある「前沢」の名前が入っていないと異議を唱え「滝山・前沢みんなの夏祭り」に変更されたと聞きました。

自治会からは、担当の文化委員の他に夏祭り委員を選出し、私もその一員として祭りに参加しました。



《 印象に残っていること 》

- ☆ 中央通りの提灯飾りつけ、片づけに自治会員も参加、いよいよ夏祭りが始まるぞ！といった雰囲気が漂いました。
- ☆ 希望者には祭り提灯を幹旋して、購入者は軒先に掲げました。
- ☆ 商店会からの誘いで阿波踊りに自治会員も参加、滝山 5 丁目から滝山団地入口まで、見よう見まねで踊り、翌日は足腰がふらふら。



「おかめ・ひょっこ柄」のゆかたで参加 (1981. 8)



ちょうちんと子ども用法被

- ☆ 「たるみこし」「ドラえもんみこし」「ドラミちゃんみこし」等、多くの手作りみこしを、くぬぎ児童館等で親子が作りました。
- ☆ 大太鼓やみこしが、前沢 4 丁目と 5 丁目を土曜、日曜交互に練り歩きました。
参加する子供の数が多く、大太鼓の引き綱を増やしても足りないくらいの長蛇の列で、事故の無いよう気を遣いました。
- ☆ 第 1 ブロックの案内アナウンスを、会員の M さんが担当、その美声は今でも語り草になっています。